

平成27年5月15日

報道関係者 各位

平成27年度島原子ども狂言ワークショップ開講式・公開講座
の開催について（告知と取材のお願い）

このことについて、下記のとおり開講式を行ないますのでお知らせします。また、当日は別紙チラシのとおり、講師野村万禄先生による狂言の公開講座と子どもたちの公開練習も行ないます。

記

日 付 5月20日（水）
場 所 島原文化会館中ホール
時 間 ①開講式 午後6時30分～
 ②公開講座（和泉流狂言師・野村万禄先生） 午後7時～7時35分
 ③公開練習 午後7時40分～
備 考 今年度参加者数 37名



有明海にひらく湧水あふれる
火山と歴史の田園都市 島原

担当：社会教育課

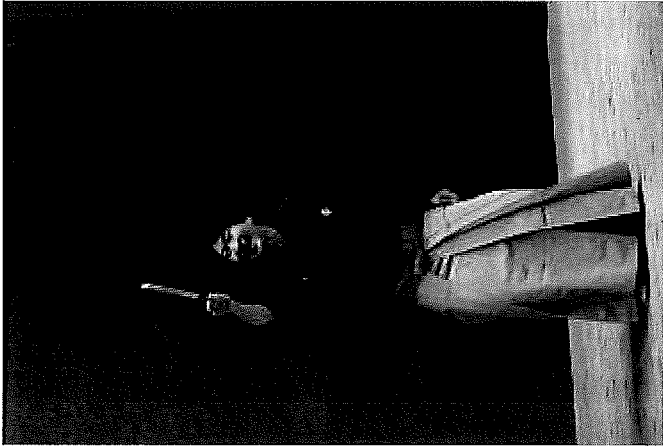
林田 崇

電話：0957-68-5473

E-mail：t-hayashida@city.shimabara.lg.jp

～2015＊島原子ども狂言ワークショップ公開講座～

‘ふれてみよう！わかりやすい狂言の世界’



講師：野村万禄（和泉流狂言方）

今年もいよいよ開講！島原子ども狂言ワークショップの第1回目は公開講座！

長年、講師としてご活躍いただいている、和泉流狂言方・野村万禄先生による、特別公開講座を開催します。

「太郎冠者あるか」「かしこまってござる」などの言葉を聞いたことはありませんか？

これは狂言の中でよく使われるセリフです。なんだかおもしろそうですね。

狂言は能とともに日本の伝統演劇です。600年も昔から、人々の生活を楽しくあらわしている舞台です。

島原でも江戸時代、島原城には能舞台があり、武士から庶民まで能や狂言を楽しんでいました。

この狂言の世界を、和泉流狂言方の野村万禄さんに解説をしていただきながら、

わかりやすくご紹介したいと思います。

日時：5月20日（水）午後7時～7時35分＜狂言の鑑賞とお話＞

午後7時40分～8時＜小謡の公開練習＞

会場：島原文化会館中ホール

主催：島原市・島原市教育委員会

協力：島原城薪能振興会・島原子ども狂言協会・島原子ども狂言ボランティアスタッフ

＜野村万禄（のむらまんろく）プロフィール＞

1966年、故六世野村万蔵（芸術院会員・人間国宝）の孫として東京に生まれる。1990年東京芸術大学音楽学部邦楽科能楽専攻卒業。

現在は伯父の初世野村萬（人間国宝）に師事している。1997年に福岡に居を移し、狂言の普及活動に努めている。

ワークショップによる演劇人の指導や小中学校の狂言クラブへの指導の他、福岡にある「萬狂言・九州」の稽古場を一般の方や子ども達に広く開放している。

重要無形文化財総合指定保持者。2004年より島原子ども狂言の講師を務め、狂言を通して、島原の子ども達への能楽の伝承に力を注いでいる。

＊問い合わせ：島原子ども狂言協力会事務局（社会教育課内）＜0957-68-5473＞

どなたでも参加できます。ぜひお気軽にご来場ください！